

<b>T P N粉剤</b> <b>ダコニール粉剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> クミカ、住友化学  <b>原体メーカー：</b> エス・ディー・エス
<b>成分：</b> T P N〔有機塩素系 PRTR・1種〕……………4.0%	<b>性状：</b> 類白色粉末45μm以下  <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 茎葉散布用及び育苗箱施用殺菌剤として胞子の発芽阻止，菌糸侵入阻止効果が高い。
- 植物体内への浸透移行性はないが予防効果に優れ，その残効性がある。
- 成分は広範囲の作物病害に効果がある。
- 耐性菌が発生しにくい。
- 雨が多い時や水利の悪い場所で使いやすい。
- 施設の場合，水を使わないので施設内の湿度を高めず，病害の発生を助長しない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 発病前より予防的に使用する。
- 〈稲（箱育苗）の苗立枯病発生防止〉
- リゾープス菌による苗立枯病には有効であるが，フザリウム菌その他による苗立枯病には効果が劣るので誤らないよう注意する。
  - 処理はは種時に近い程有効なので，できるだけ種前5日以内に使用することが望ましい。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 適用作物（稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- ビニールハウス，温室内の高温多湿時の散布では通風をよくする。
- 使用後に除草，収穫などの作業をする時は，皮膚の露出部を少なくする。
- 作業後は皮膚の露出部をよく洗い，うがいをし，清水で洗眼する。
- 蚕に対して影響があるので，周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 魚類に影響を及ぼすので，使用時並びに使用後も注意。



# 【適用と使用法】 .....

作物名	適用病害名	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	T P Nを含む農薬 の総使用回数
ト マ ト	葉かび病	3 kg	前日まで	4 回 以内	散布	6 回以内 (土壌灌注は2回以内, 散布 及びくん煙及びエアゾル剤 の噴射は合計4回以内)
きゅうり	べと病 炭疽病	3 ～ 4 kg		8 回 以内		10 回以内 (土壌灌注は2回以内, 散布 及び常温煙霧及びくん煙及び エアゾル剤の噴射は合計 8 回以内)
す い か	炭疽病	5 kg	3 日前まで	5 回 以内		5 回以内
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (リゾープス菌)	育苗箱* 1 箱当り 15 ～ 20 g	は種前	1 回	育苗箱 土壌に均一 に混和する	2 回以内

\* 育苗箱は 30×60×3 cm, 使用土壌約 5 ℓ